

## (資 料)

- ① 調書
- ② 学生配布用リーフレット
- ③ 合同報告会ポスター
- ④ 合同報告会発表資料
- ⑤ キャリア教育学会発表資料

## 平成22年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）調書

本調書は、平成22年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）の交付（内定）を行うにあたり参考とするために提出していただくものであり、申請書における記載事項との整合性にも留意して記載してください。

1. 大学等名／設置者名	京都光華女子大学短期大学部 / 学校法人光華女子学園
2. 事業名	「大学教育・学生支援推進事業」（学生支援推進プログラム）
3. 取組名称	短期大学士力養成のための具体的実践としてのキャリア教育の推進
4. 選定年度	平成21年度
5. 事業推進代表者／ 事業推進責任者	(所属部局・職名・氏名) 事業推進代表者 学長 一郷 正道 事業推進責任者 ライフデザイン学科教授 森際 孝司
6. 事務担当者 内容等の問い合わせに適切に対応できる事務担当の方で、主担当、副担当を必ず2名記載してください。	主担当 (所属部局・職名・氏名) 学生キャリア支援センター長 原田 雅恒
	副担当 学務企画部長補佐 土佐 嘉宏
7. 取組の概要（400字以内）	<p>日本私立短期大学協会の提唱する短期大学士力の養成を目的とし、これをキャリア教育として展開する。提供するキャリア教育のうち正課外のは、短期大学士力の内容を本学独自の観点からまとめたものとする。特に現在の社会情勢を考慮し、入学前からの継続的キャリアマインドの喚起、資格取得のサポート、卒業後のケアを重視する。キャリア教育における学生支援のコアツールが「学生キャリアポートフォリオ」である。このツールの活用により、より系統的な就職情報の提供が可能になる他、学生が自ら計画・実践し、総括する力を身に付けられるようにする。ポートフォリオはキャリア教育の内容改善にも有効である。本取組では「教職員用キャリア教育推進ポートフォリオ」を用い、教職員が共同で正課・正課外教育を計画・実施・改善する。これによりキャリア教育改善のPDCAサイクルを、学科の教員、就職支援事務の職員が共同して組織的に回すことが可能になる。</p>
8. 補助事業の目的・必要性	<p>(1) 全体 本補助事業は、キャリア教育の具体的展開を通じて、短期大学士力を養成することを目的とする。本事業におけるキャリア教育は、キャリア教育の観点から体系化された正課のカリキュラムと、短期大学士力養成の観点による入学前から卒業後まで系統的に配置された正課外のプログラムからなる。また、学生がこれらの授業やプログラムに参加するにあたり、学生キャリアポートフォリオを活用することにより、自ら計画・実践し総括する力を身につけられるようにする。さらに、本事業では、現在の社会情勢を考慮し就職支援に直結する企画を重視しており、短期大学士力を養成すると共に実際の就職決定率の向上も目的とする。</p> <p>(2) 本年度 本補助事業の本年度の目的は、昨年度の取組によって整備された支援環境と実施体制下で、正課教育と正課外教育を融合させた体系的なキャリア教育を本格的に展開することである。さまざまな正課カリキュラム、正課外プログラムを継続実施するとともに、昨年度構築された「学生ポートフォリオ」をキャリア教育のコアツールとして活用して、学生が自ら計画・実践し総括する力を身につけられるようにする。加えて、「教職員用キャリア教育推進ポートフォリオ」の運用によって、教員と職員とが連携して共同でキャリア教育の質の保証と向上を図ることである。</p>

9. 本年度の補助事業実施計画（選定された取組を実施するためのスケジュールを箇条書きで記載してください。なお、記載にあたっては、備品の購入等、経費の支出計画ではなく、取組の実施計画を記載してください。）

本年度の補助事業の目的を達成するため、次のスケジュールで計画を実施する。

- ① 4月～3月 本補助事業統括組織の運営
- ② 4月 新入生体験学習研修の実施
- ③ 4月～3月 学生ポートフォリオ・教職員用キャリア教育推進ポートフォリオの運用
- ④ 4月～3月 さまざまなキャリアマインド喚起プログラム、資格講座、就職対策講座の実施
- ⑤ 5月～1月 「伝統文化講演」・「こころの講演」の実施
- ⑥ 11月～3月 こども保育学科の就職先訪問調査の実施
- ⑦ 2月 ライフデザイン学科の総まとめとしての体験研修の実施
- ⑧ 3月 こども保育学科卒業生の保育所実習・教育実習体験録の作成
- ⑨ 3月 キャリア教育合同シンポジウムの開催
- ⑩ 3月 本補助事業の最終結果報告書の作成

10. 補助事業の内容（選定された取組の内容を上記の実施計画と対応させるよう、箇条書きで具体的に記載してください。）

本補助事業は、採択された「学生支援推進プログラム」における「短期大学士力養成のための具体的実践としてのキャリア教育の推進」について、短期大学士力の養成、すなわち、キャリアマインドの喚起・醸成、社会人基礎力の習得の一層の充実・発展を目指す補助事業であり、その内容は以下のとおりである。

- ①本補助事業を円滑に実施していくための全体統括組織を運営する。本組織は、学長を中心に、ライフデザイン学科・こども保育学科の教員、学生キャリア支援センター職員、学園IT推進部職員、本取組専任教員、本取組専任職員によって構成される。
- ②ライフデザイン学科において、新入生を対象にして、1泊2日の体験学習研修を実施する。
- ③「学生ポートフォリオ」をキャリア教育のコアツールとして活用する。また、そのための支援ツールとして、教職員が共同して「教職員用キャリア教育推進ポートフォリオ」を運用する。
- ④レポート作成添削指導による入学前キャリア導入教育を実施する。また、自己発見レポート、社会人基礎力診断、ビジネスマナー講習会、話しことば検定講座、SPI対策講座、就職写真支援講座を実施する。
- ⑤本学の建学の精神に基づき、本学独自の短期大学士力の内容として、「伝統文化講演」3回、「こころの講演」2回、計5回実施する。
- ⑥こども保育学科の主な就職先である幼稚園・保育所（園）の要望を訪問調査し、その結果を実習・就職支援室での指導に反映させる。
- ⑦ライフデザイン学科において、卒業前の総まとめとして、将来目指す分野（ファッション・ブライダル、住居・インテリア、情報・ビジネス、観光、フード等）についての体験研修を企画し実施する。
- ⑧こども保育学科の卒業生および本年度卒業生（予定）に保育所実習・教育実習の体験記を依頼し、それを冊子にまとめる。学生への配布は平成23年度当初に行う。
- ⑨キャリア教育に関するシンポジウムを他大学と合同で開催し、本プログラムの実施内容の公表・普及とあわせ、他大学等の同様の企画との比較・検討を行う。
- ⑩本補助事業の計画・実施内容・総括に基づき、最終結果報告書を作成して、本補助事業の成果を報告する。  
これらを通じて、採択された取組をさらに充実・発展させ、「就職満足度100%」を実現するための人材育成機能の強化を図っていくことが本補助事業の内容である。

11. 補助事業から得られる具体的な成果（選定された取組から得られる成果を上記の補助事業の内容と対応させ、箇条書きで記載してください。）

上記の本年度の補助事業実施計画を実施することにより、本補助事業から得られる具体的な成果は、以下のとおりである。

- ①本組織を運営することにより、キャリア教育における教員・職員の連携・協力関係のもと、本補助事業を強力に推進することが可能になる。
- ②入学直後に新入生を対象にした体験学習研修を実施することによって、その後の学習へのモチベーションを高める。
- ③「学生ポートフォリオ」の活用を通して、学生自らが計画・実践し統括する力を身につけられるようにするとともに、「教職員用キャリア教育推進ポートフォリオ」の運用によって、キャリア教育の質の改善を図る。
- ④入学前からの導入教育によりキャリアマインドを喚起し、在学中の徹底した資格取得・就職活動のサポートにより就職率を向上させることを目的とした、本取組の正課外プログラムの核となるものである。
- ⑤キャリア教育の中に建学の精神に基づく「伝統文化講演」、「こころの講演」を取り入れることにより、社会人基礎力の内容をマニュアル通りのものではなく生きる力へとつながる豊かなものにする。
- ⑥こども保育学科の主な就職先である幼稚園・保育所（園）の要望を調査し、教育内容改善の基礎データとして活用する。また調査結果を実習・就職支援室での学生の指導の向上につなげる。

- ⑦ライフデザイン学科は地域総合科学科として認定され、さまざまな分野から構成されている。そこで、卒業前に将来目指す分野についての体験研修を行うことによって、在学中の学習の総まとめをするとともに、卒業後の継続的学習意欲を喚起する。
- ⑧こども保育学科の学生にとって、保育所実習・教育実習ははじめての本格的実践の場であり、戸惑うことが多い。そこで、先輩達の体験記をあらかじめ読み、実習を疑似体験することによって、実際の実習にスムーズに入ることが可能になる。
- ⑨他大学と合同でキャリア教育に関するシンポジウムを開催することにより、本プログラムについて情報発信し、本補助事業の公表・普及につなげる。また、そこで得られた他大学で行っている手法との比較・検討を行うことで、キャリア教育の質のより一層の改善に活かす。
- ⑩最終結果報告書を作成し本補助事業の実施内容を総括し、その成果について公表することにより、本補助事業の普及に貢献する。

# 短期大学士力養成のための 具体的実践としての キャリア教育の推進

---

京都光華女子大学短期大学部  
キャリア教育推進特別委員会 相場浩和



# 本学の概略

建学の精神 校訓「真実心」(＝慈悲の心)  
教育目標 「仏教精神に基づくこころの教育」  
「有為なる女性を育成する実学教育」

## 短期大学部:

ライフデザイン学科 370名

地域総合科学科に認定、ファッション・ブライダル、住居・インテリア、  
フード、情報・ビジネス等の多様な分野

こども保育学科 160名

保育者養成

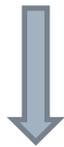
併設四大: キャリア形成学部、健康科学部、人文学部

# キャリア教育の位置づけ

現在の大きな課題

ユニバーサル段階の大学・短大へのフルモデルチェンジ

必要性の顕在化



社会のニーズと大学・短大での教育とのギャップ

キャリア教育

転換へのムーブメント



ギャップの解消

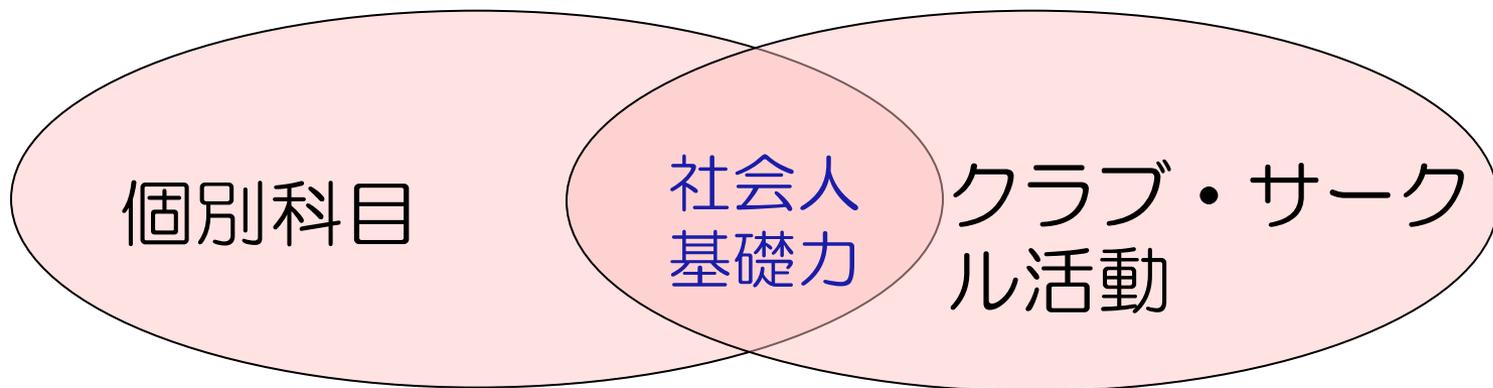
社会人基礎力

- 前に踏み出す力
- 考え抜く力
- チームで働く力



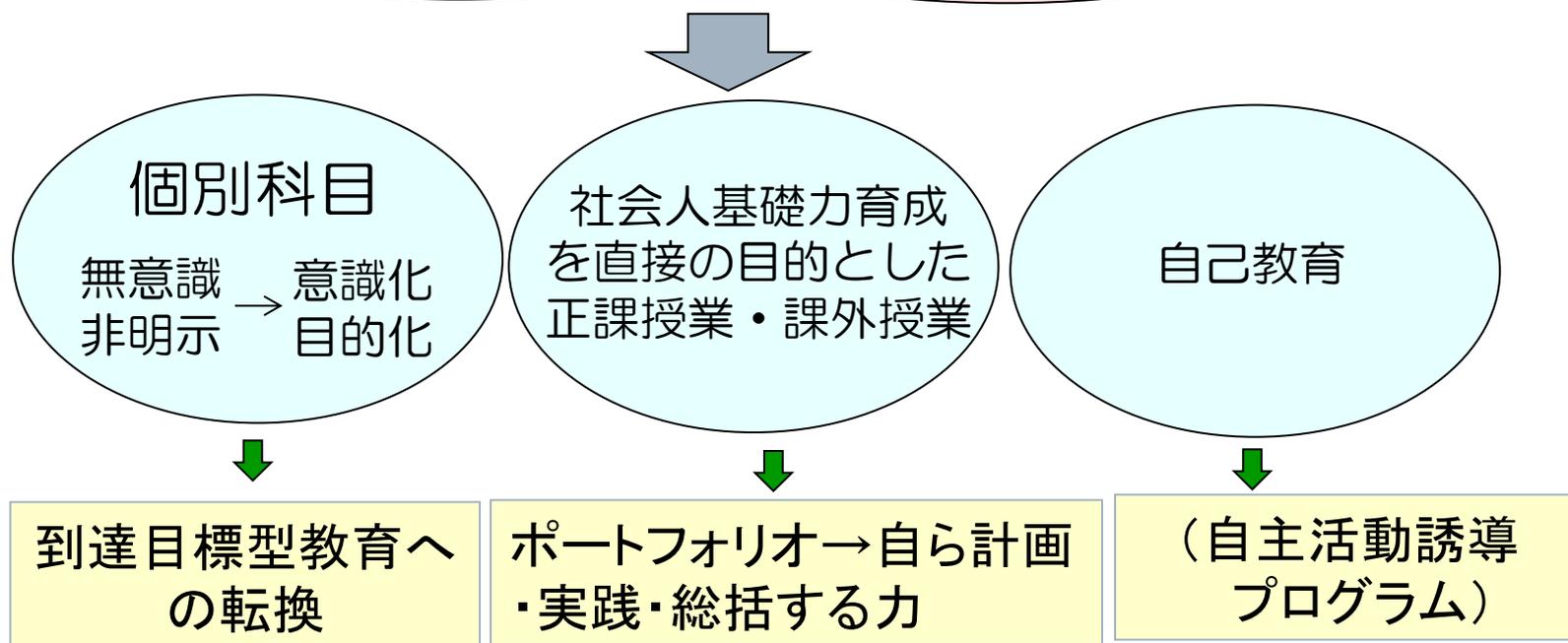
# 社会人基礎力はどのように育成するか

従来



現在

本学の実践



# 「短期大学士力」について

## 第3章 短期大学教育の再構築に向けて

### 第1節 短期大学士課程の教育

#### 6. 「三つの方針」について

##### 1) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

「・・・短期大学では、短期大学士課程共通の、学科・専攻を超えた分野横断的な学習成果目標、卒業時に習得すべき能力を規定する必要がある。

これを仮に「短期大学士力」と呼ぶ。・・・」

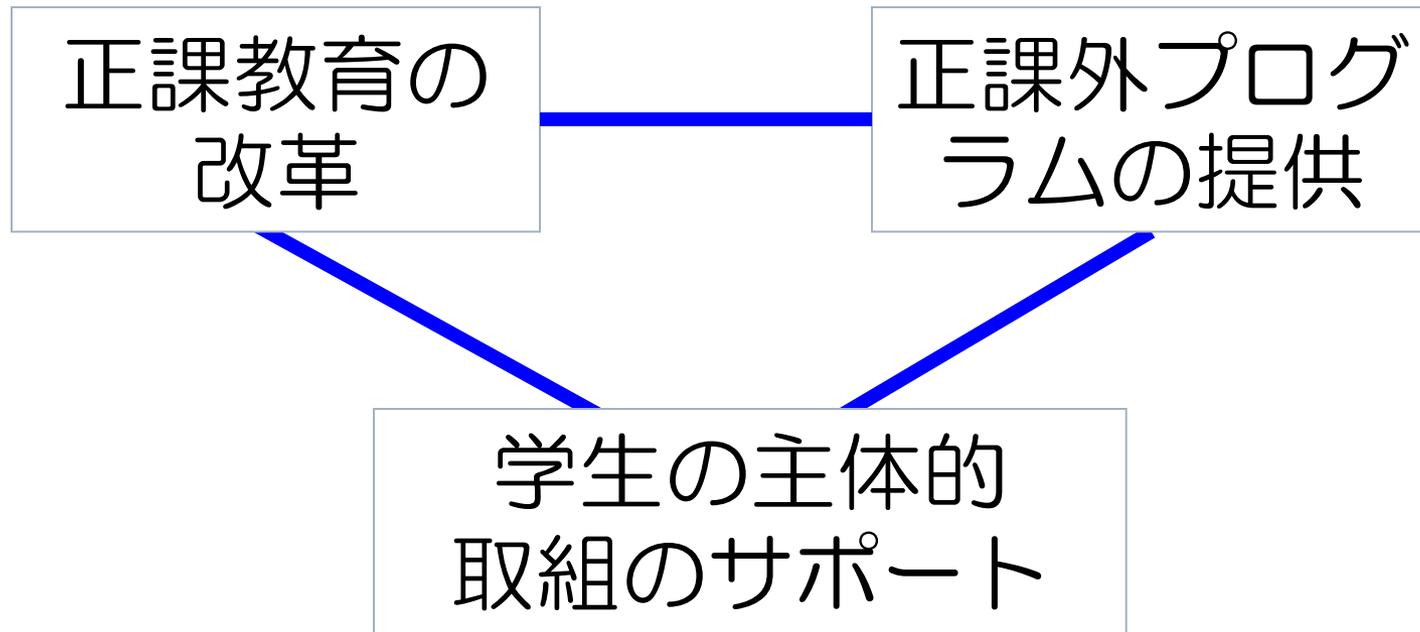
『短期大学教育の再構築を目指して—新時代の短期大学の役割と機能—』

日本私立短期大学協会、H. 21. 1. 16

短期大学士力 ≡ 社会人基礎力



# キャリア教育の体系



# 先進的経験に学ぶ

## 初等教育に学ぶ

すべての<sup>こども</sup>に基礎学力を



すべての<sup>学生</sup>に社会人基礎力を

- 教育体系  
到達目標型教育
- 学習者の主体性の  
サポート  
ポートフォリオ
- 教育計画の策定  
教員の集团的討議

## GPに学ぶ

- 入学前教育  
「学生と教員の幸せな出会いをめざす導入教育」同志社大、07年度特色GP
- カリキュラム・マップ  
「目標達成型大学教育改善プログラム」山口大、08年度教育GP
- eポートフォリオ  
「学ぶ意欲を引き出すための教育実践－KITポートフォリオシステムを活用した目標づくり－」金沢工大、06年度特色GP

# 本取組の全体像

短期大学士力≡社会人基礎力の養成を目的とし、これをキャリア教育として展開する

## 正課教育

「何をできるようになるか」を重視した**到達目標型教育**への転換

- 入学前学習レポート
- 専門教育
- 体験研修、実習録

## 正課外教育

正課支援・就職支援プログラム等の提供

- 社会人基礎力を意識するためのプログラム  
自己発見レポート（ベネッセ）、社会人基礎力診断（ディスコ）、自己の探求（ラーニングバリュー）
- 建学の精神に基づくプログラム  
こころの講演、伝統文化の講演
- 就職活動支援プログラム  
キャリアアドバイザーとの面談（ANA総研）、就職対策・資格講座

**学生ポートフォリオ**をキャリア教育のコア・ツールとして活用することにより、学生が**自ら計画・実践し、総括する**力を身に付けられるようにする

# 到達目標型教育への転換

個別科目における社会人基礎力育成の意識化・目的化



- ・「何ができるようになるか」という観点からの吟味・整理→科目の到達目標
- ・科目の到達目標とディプロマポリシーとの相関を明示



教員：科目の目標の①基礎学力、②専門知識、③人間性、④社会人基礎力の配分を意識

学科：カリキュラム全体目標の①、②、③、④の配分を意識

## ディプロマ・ポリシー

## カリキュラム・マップ

### ライフデザイン学科

1. カリキュラムの多面的な履修を通して、豊かな人間形成をおこない、幅広く深い現代的教養を身につける
2. 体系的な学習を通して、現代の多様な課題を見つけ、問題を解決する判断力を身につける
3. 自らの人生の目標に向かって努力し、実践できる人材となる
4. 社会の変化に対応して、生涯を通して自らを高めることができる
5. 自らの立場を相対化し、広い視野から他者と協働できる
6. 学んだことや考察した結果を適切な手段によつて的確に表現することができる

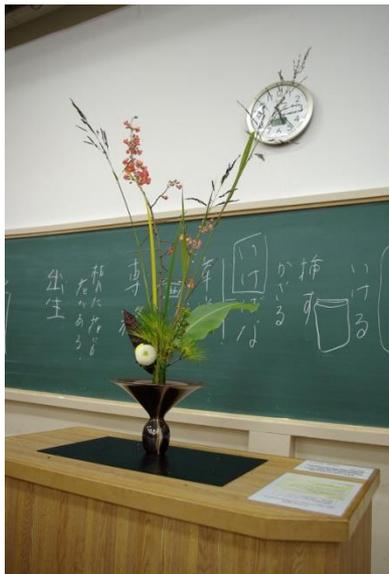
学科目	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号*					
		①	②	③	④	⑤	⑥
仏教の人間観 I	1. 仏教語の読み方を習得し、その意味を理解する	◎					
	2. 釈尊や親鸞聖人の生き方や考えを学び、人間は社会とどういう関係にあり、どのように生きていくべきなのかを考える。			△	○	◎	
	3. 金子みすずの童謡を鑑賞し、親子や友人、先生との関係、まわりの自然や生きものに対する仏教的なものの方との異同を考える			△	○	◎	
ファッションディスプレイ実習	1. ディスプレイマネキンに対して、ピンワーク(ピンを用いて生地を巻き、あるいはとめつける技術)による服飾デザインの基礎立体表現ができる		△		○		
	2. ディスプレイマネキンに対して、ピンワークによる服飾デザインの応用立体表現ができる。				○		◎
	3. ディスプレイマネキンおよび人体に対して、ピンワークによる服飾デザインの創作立体表現ができる。				○		◎

ディプロマポリシーの項目番号\*

◎: DP達成のために特に重要な目標  
 ○: DP達成のために重要な目標  
 △: DP達成のために望ましい目標

# こころの講演・伝統文化の講演

態度・志向性（豊かなこころ）の観点の教育の補強



- ・ **建学の精神**に立脚した両学科共通の取組: 学内GPより発展
- ・ **豊かな生きる力**を伴った短期大学士力の養成
- ・ **全員参加**



# 学生ポートフォリオ

## PDCAサイクルを回すための有効なツール システム

1. 週間ポートフォリオ  
PDCA記述の習慣化  
クラスアドバイザー

2. 達成感ポートフォリオ  
科目の達成目標の自己評価  
科目担当教員

3. 学期ポートフォリオ  
学期単位のPDCA  
クラスアドバイザー

4. キャリアポートフォリオ  
キャリア形成支援  
キャリア教育担当教職員  
クラスアドバイザー

「トップ」 「週間ポートフォリオ」 「達成感ポートフォリオ」 「キャリア・ポートフォリオ」 「学期ポートフォリオ」



# 1. 週間ポートフォリオ

- ・携帯からアップOK
- ・写真添付可「今週の1枚」

目標と達成度

活動履歴

出席状況自動表示



この1週間で特に努力したこと、反省すべき点とその対策など (全角100文字)

日常生活で困っていることなど (全角100文字)

コメント欄

[コメント欄追加](#)

- 2010/07/14 10:19:09 先輩のお話が聞いて良かったです。
- 2010/07/14 17:28:42 まず自分について振り返る作業からはじめるのもいいですね。21日のライフデザイン総論が参考になると思います。

目標

今週の優先順位(1)  
(全角100文字) マイナビを開いて、企業のことを見る。

達成度評価  達成できた  1回も達成できた  行動したが達成できなかった  行動しなかった

今週の優先順位(2)  
(全角100文字) 学校から配布された書類の整理。

達成度評価  達成できた  1回も達成できた  行動したが達成できなかった  行動しなかった

今週の優先順位(3)  
(全角100文字)

達成度評価  達成できた  1回も達成できた  行動したが達成できなかった  行動しなかった

日付	出席情報					予習・復習・課題	部活・バイトなど	食事			睡眠 (H)
	1	2	3	4	5			朝	昼	夜	
07/12 月	○		○				なし	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	6.0
07/13 火	○	○					なし	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5.7
07/14 水	○	○	○	○	○		生活色彩学宿題	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	6.3
07/15 木		○	○		○		プレゼンテーション概論 課題提出	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	6.5
07/16 金	○							<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	6.0
07/17 土								<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	10.0
07/18 日								<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	7.3

総括

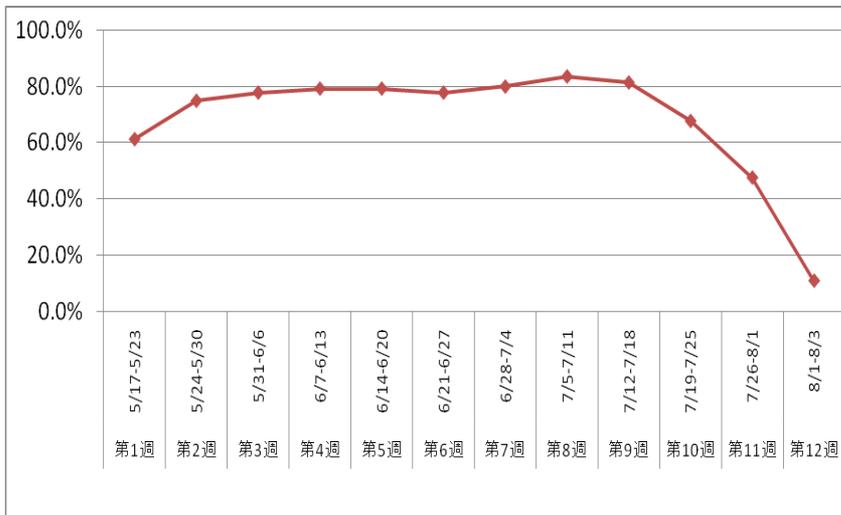
教員コメント



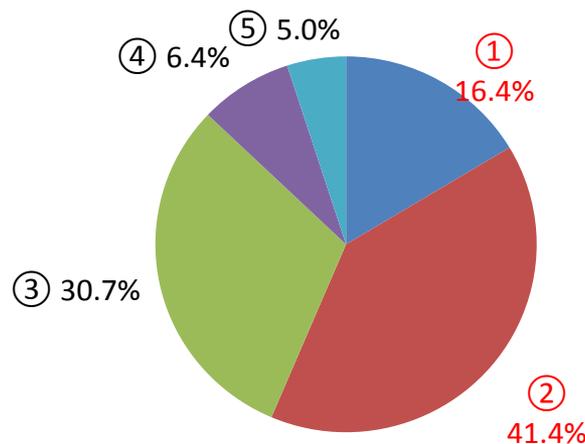
# 1. 週間ポートフォリオ投稿率と学生評価

投稿率 **75%**

ライフデザイン学科1年生 139名



週間ポートフォリオを通じて  
目的意識が身についたか



①身についた②やや身についた③どちらとも言えない  
④あまり身につかなかった⑤身につかなかった

教員コメントへの高評価（**有益、やや有益で83%**）

「コメントをもらうことがうれしかった」 17

「コメントに励まされた、前向きになれた」 15

「アドバイスがもらえてよかった」 14

稲垣、「eポートフォリオを活用したキャリア教育の実践—週間ポートフォリオ運用の試み—」2010年11月、日本キャリア教育学会第32回研究大会発表論文集 pp.172-173；同、「短期大学におけるキャリア教育実践事例—eポートフォリオを活用した初年次教育の取組—」2010年12月、人材育成学会第8回研究大会報告論文集。

# 1. 週間ポートフォリオ—教員の評価・負担

## 学生の目標変化を肯定的に評価

- 三食食べる、無遅刻・無欠席→ナビで希望職種の調査、資格試験対策
- 「目標を立て振り返るという作業を苦にしなくなった」、「かなり重要な相談をする学生が増えてきた」等

## 楽ではないが継続可能

かなり負担だった	0名
やや負担だった	6名
どちらとも言えない	0名
あまり負担ではなかった	2名
負担ではなかった	2名

週間ポートフォリオは教員の負担が大きすぎる？



初年次教育：週間ポートフォリオ



実施可能な担当学生数の検討

教員1人当たりの担当学生数：12～13人

# 2. 達成感ポートフォリオ

学期末に、学生がカリキュラム・マップにある各科目の到達目標の達成度を自己評価

→到達目標型教育の重要な要素

学生が何をできるようになるかを重視 ⇨ 学生自身が何ができるようになったと自覚しているかを把握することの重要性

火曜 2限 T1135 表計算演習 I CSV 集計

回答率: 30/38 78.9%

学生一覧 (回答済) 印刷

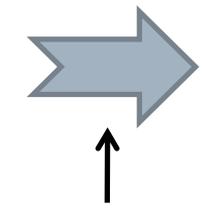
### 達成感ポートフォリオ

表計算演習 I

1. 表計算ソフトについての基本的な操作が実践できる  
 100%  80%  60%  40%  20%  0%  
自己評価の理由を200文字程度で書いてください  
今まで知らなかったことを知れて良かった。使いこなせるようになりたい。

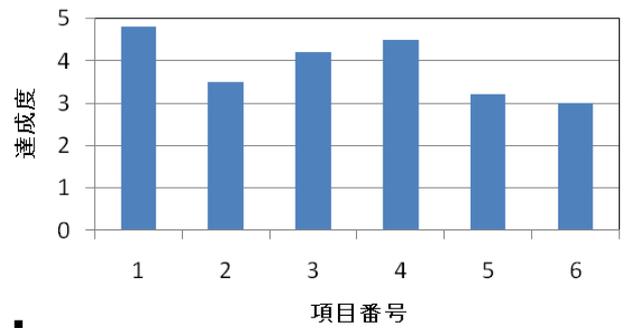
2. 表計算を用いた基本的な課題を自らの力で解決する判断力を身につける  
 100%  80%  60%  40%  20%  0%  
自己評価の理由を200文字程度で書いてください  
まだまだ分からないことがたくさんあるので、一人で使えるようになりたいと思った。

3. 絶対参照や簡単な関数を利用して、効率的な数式を作成できる  
 100%  80%  60%  40%  20%  0%  
自己評価の理由を200文字程度で書いてください  
絶対参照などが苦手だから、完璧に使えるようになりたい。



カリキュラム・マップ

ディプロマポリシー達成度自己評価



# 2. 達成感ポータルフォーリオー教員へのフィードバック

## 教員へのフィードバック

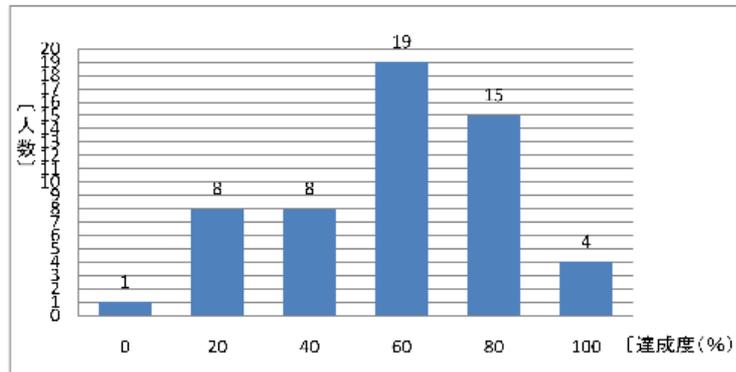
到達目標達成度自己評価

授業コード: T11 授業名: [ ]

担当教員: [ ]

受講者数 107 名

到達目標1: コンピュータの5大機能と対応する装置を説明できる



達成度平均

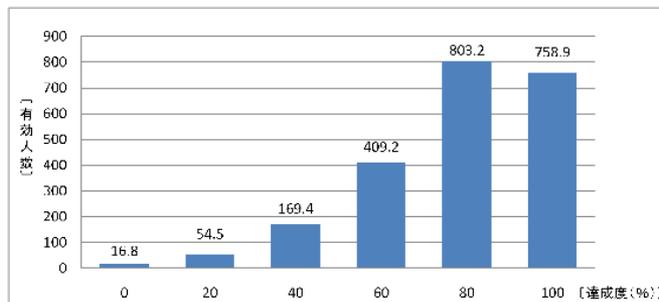
58.5 %

## 学科へのフィードバック

ディプロマポリシー達成度自己評価

こども保育学科

項目① 知識・理解: 保育者として必要な専門知識・技能の習得に努める。

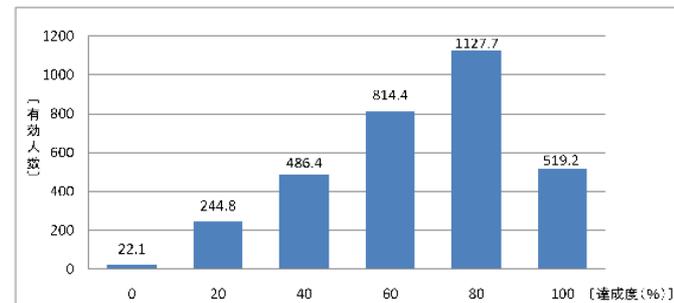


平均  
78.0 %

ディプロマポリシー達成度自己評価

ライフデザイン学科

項目① 知識・理解: カリキュラムの多面的な履修を通して、豊かな人間形成をおこない、幅広く深い現代的教養を身につける。



平均  
67.0 %

# 3. 学期ポートフォリオ

- ・学期単位のPCDAサイクルを回すためのツール。
- ・まず学期初めに目標を書きこみ、学期終了時に達成度の自己評価等を書きこむ。
- ・週間ポートフォリオが1週間単位だったのに対して、学期ポートフォリオでは比較的長期間を射程においた、計画・実践・総括を行う。

e-ポートフォリオ	
学習・生活・成長過程を記録していきます。	
タイトル	<input checked="" type="checkbox"/> 学期ポートフォリオ 後期の達成度評価
投稿日 <small>必須</small>	2011/01/18 <input type="button" value="日付"/>
後期の目標 <small>必須</small>	<input checked="" type="checkbox"/> (全角 200文字)
達成度評価 <small>必須</small>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/> 達成できた <input type="radio"/> 1割も達成できた <input type="radio"/> あまり達成できなかった <input type="radio"/> 達成できなかった
なぜそう判断しましたか <small>必須</small>	<input checked="" type="checkbox"/> (全角 200文字)
後期の修学・生活状況において満足していること <small>必須</small>	<input checked="" type="checkbox"/> (全角 200文字)
後期の修学・生活状況において改善すべきこと <small>必須</small>	<input checked="" type="checkbox"/> (全角 200文字)
教員からのコメント	<input checked="" type="checkbox"/>

# 4. キャリアポートフォリオ

- キャリアについて考えるきっかけや材料になるような様々なワークシートを用意し、そこに記録を蓄積できるようにして学生のキャリア形成を支援

自分の強みの整理シート	
タイトル	<input type="checkbox"/> 強みの整理をしよう
投稿日 <small>必須</small>	<input type="text"/>
現在の自分の強み	<input type="checkbox"/>
(全角 100文字)	
それを裏づける具体的なエピソード	<input type="checkbox"/>
(全角 200文字)	
普段感じている自分の短所	<input type="checkbox"/>
(全角 100文字)	
見方を変えて短所を長所に言い換えると	<input type="checkbox"/>
(全角 100文字)	
それを裏づける具体的なエピソード	<input type="checkbox"/>
(全角 200文字)	

自分史シート	
タイトル	自分史
投稿日 <small>必須</small>	<input type="text"/>
小学生時代を振り返って、どんな科目が好きでしたか	<input type="checkbox"/>
(全角 20文字)	
どうしてだったと思いますか	<input type="checkbox"/>
(全角 200文字)	
中学生時代を振り返って、どんな科目が好きでしたか	<input type="checkbox"/>
(全角 20文字)	
どうしてだったと思いますか	<input type="checkbox"/>
(全角 200文字)	
高校生時代を振り返って、どんな科目が好きでしたか	<input type="checkbox"/>
(全角 200文字)	

学生生活充実計画シート	
タイトル	<input type="checkbox"/> 学生生活充実計画を立てよう
投稿日 <small>必須</small>	<input type="text"/>
学生生活でやってみたいこと	<input type="checkbox"/>
(全角 100文字)	
自分の強み	<input type="checkbox"/>
(全角 100文字)	
興味のある仕事	<input type="checkbox"/>
(全角 100文字)	
この1年間の目標(なりたい自分や実現したいこと)	<input type="checkbox"/>
(全角 200文字)	
目標を達成するために必要とされる力	<input type="checkbox"/>
(全角 200文字)	

# 評価方法

社会人基礎力≡短期大学士力が  
どの程度身に着いたか

## ■ 社会人基礎力診断テスト

全国平均との比較が可能

H21年度と22年度の比較により取組の効果の検証が可能→ほとんど変わらず

## ■ ディプロマ・ポリシーの達成度評価

カリキュラム・マップに基づき、各科目の到達目標の達成度を重みづけで加算することにより達成度の数値化が可能→23年度以降

## ■ ディプロマ・ポリシーの達成度の学生自己評価

達成感ポートフォリオの自己評価を上と同様に重みづけ加算することにより数値化が可能→22年度初実施

取組全体：第三者による外部評価→相互評価

# 今後の課題：ディプロマ・ポリシーを基軸とした評価

評価に落とし込むことにより、到達目標型教育への転換を強力に推進

## ディプロマ・ポリシー

## カリキュラム・マップ

### ライフデザイン学科

1. カリキュラムの多面的な履修を通して、豊かな人間形成をおこない、幅広く深い現代的教養を身につける
2. 体系的な学習を通して、現代の多様な課題を見つけ、問題を解決する判断力を身につける
3. 自らの人生の目標に向かって努力し、実践できる人材となる
4. 社会の変化に対応して、生涯を通して自らを高めることができる
5. 自らの立場を相対化し、広い視野から他者と協働できる
6. 学んだことや考察した結果を適切な手段によつて的確に表現することができる

学科目	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号*					
		凡例 ◎: DP達成のために特に重要な目標 ○: DP達成のために重要な目標 △: DP達成のために望ましい目標					
		①	②	③	④	⑤	⑥
仏教の人間観 I	1. 仏教語の読み方を習得し、その意味を理解する	◎					
	2. 釈尊や親鸞聖人の生き方や考えを学び、人間は社会とどういう関係にあり、どのように生きていくべきなのかを考える。			△	○	◎	
	3. 金子みすずの童謡を鑑賞し、親子や友人、先生との関係、まわりの自然や生きものに対する仏教的なもの見方との異同を考える			△	○	◎	
ファッションディスプレイ実習	1. ディスプレイマネキンに対して、ピンワーク(ピンを用いて生地を巻き、あるいはとめつける技術)による服飾デザインの基礎立体表現ができる		△		○		
	2. ディスプレイマネキンに対して、ピンワークによる服飾デザインの応用立体表現ができる。				○		◎
	3. ディスプレイマネキンおよび人体に対して、ピンワークによる服飾デザインの創作立体表現ができる。				○		◎



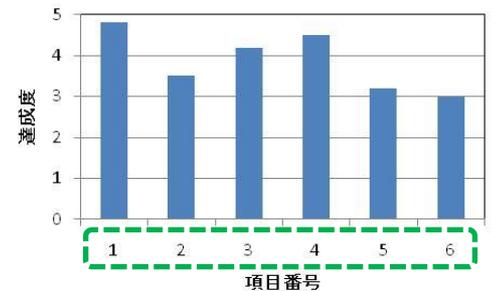
## 到達目標達成度評価

学生証番号	到達目標1	到達目標2	到達目標3
10L991	5	4	4
10L992	2	3	3
10L993	4	1	2

## 成績表

科目名	評価
ディスプレイ演習	92
到達目標	1.基礎立体表現ができる 5
	2.応用立体表現ができる 4
	3.創作立体表現ができる 4

## ディプロマポリシー達成度



日本キャリア教育学会 第32回研究大会発表資料

# eポートフォリオを活用した キャリア教育の実践

週間ポートフォリオ運用の試み

京都光華女子大学短期大学部  
稲垣 久美子

# 本日の発表内容

1. eポートフォリオとは
2. 週間ポートフォリオの概要
3. 週間ポートフォリオ運用の効果
  - 学生調査結果
  - 教員調査結果
4. まとめ

# ポートフォリオとは

- ポートフォリオとは、もともと紙などをはさみこんでおく書類入れ。「書類を整理し、保管しておく」という機能をもった道具
- そこから転じて、写真家やデザイナーが、自分の作品をまとめておくものという意味で使われている
- つまり、必要なときに取り出して使えるように、重要な記録をはさみこみ、貯めておくもの
- 教育用ポートフォリオは、学生や教員が行う学習や教育活動を記録し、蓄積したものを言う

# eポートフォリオとは

- 教育用ポートフォリオの電子化が試みられ、それらはeポートフォリオ（eはelectronicsの略）と呼ばれている
- 1990年代後半から米国において活用が始まり、現在に至っては、全米の大学・カレッジの39.8%に導入されている（2008年の調査\*）
- 日本の大学教育において、eポートフォリオの導入事例はそれほど多くは見られないが、導入への関心は高まりつつある

\* Kenneth Green (2008) “The 2008 National Survey of Information Technology in U.S. Higher Education” The Campus Computing Project

# 全学ポータルシステム 光華navi



# eポートフォリオシステム

学生が目的意識を持って、主体的に学生生活を送ることを支援  
キャリア教育のコアツール

## 週間ポートフォリオ

PDCA記述の習慣化

クラスアドバイザー教員

## 学期ポートフォリオ

半期単位のPDCA

クラスアドバイザー教員

## 達成感ポートフォリオ

科目の到達目標の自己評価

科目担当教員

## キャリアポートフォリオ

キャリア形成支援

クラスアドバイザー教員

キャリア教育担当教職員

# 光華navi トップ画面



**京都光華女子大学**  
京都光華女子大学大学院/京都光華女子大学短期大学部



短大 テス子さん: 前回ログイン 2010/10/14 12:2

[ホーム](#) | [メール設定](#) | [サイトマップ](#) | [ログアウト](#)

[個人情報関連](#) | [授業関連](#) | [出欠/成績](#) | [キャリア支援](#) | [e-ラーニング他](#) | [その他](#)

ポータル | クラスプロフィール | ファイルキャビネット | **短大 ポートフォリオ**

◀ 2010年 10月 ▶

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

**授業情報**

**10月14日(木)**  
該当する授業はありません

**10月15日(金)**  
該当する授業はありません

**お気に入り**

- 京都光華女子大学  
学内情報
- Kocolony(光華SNS)
- ダウンロード(各種様式)
- Blog新着情報
- ビデオコンテンツ

**呼出連絡**

各学部からの呼出連絡です

[下宿・マンション情報 学生生活グループ \[2010/10/13\] NEW](#)

全1件

**授業情報**

休講・補講・教室変更など授業に関する情報です  
該当データがありません。

全0件

**キャリア支援**

就職や資格取得などに関する情報です

[資格試験対策講座\(有料\)の申込について エクステンションセンター \[2010/07/22\]](#)

# eポートフォリオシステム

京都光華女子大学  
京都光華女子大学大学院/京都光華女子大学短期大学部

短大 テア子さん：前回ログイン 2010/10/14 12:2

個人情報関連 授業関連 出欠/成績 キャリア支援 e-ラーニング他 その他

ポータル クラスプロフィール ファイルキャビネット 短大 ポートフォリオ

[トップ] [週間ポートフォリオ] [達成感ポートフォリオ] [キャリア・ポートフォリオ] [学期ポートフォリオ]

週間 ポートフォリオ  
WEEK

達成感 ポートフォリオ  
ACHIEVEMENT

キャリア ポートフォリオ  
CAREER

学期 ポートフォリオ  
SEMESTER

# 週間ポートフォリオ

京都光華女子大学  
京都光華女子大学大学院/京都光華女子大学短期大学部

短大 テス子 さん：前回ログイン 2010/04/28 15:00

ホーム | メール設定 | サイトマップ | ログアウト

個人情報関連 授業関連 出欠確認 アンケート回答 キャリア支援 e-ラーニング他 その他

ポータル クラスプロフィール ファイルキャビネット 短大 ポートフォリオ

[トップ] [週間ポートフォリオ] [達成感ポートフォリオ] [キャリア・ポートフォリオ] [学期ポートフォリオ]

2010年 4月

第1週	29 - 4 日	
第2週	5 - 11 日	
第3週	12 - 18 日	
第4週	19 - 25 日	<a href="#">登録▶</a>
第5週	26 - 2 日	<a href="#">登録▶</a>

# 週間ポートフォリオ

「ポートフォリオ」 [達成感ポートフォリオ] [キャリア・ポートフォリオ] [学期ポートフォリオ]

## 1週間の行動履歴

目標

今週の優先順位(1)  
(全角100文字) ああああああああ

達成度評価  達成できた  まだ達成できた  行動したが達成できなかった  行動しなかった

今週の優先順位(2)  
(全角100文字)

達成度評価  達成できた  まだ達成できた  行動したが達成できなかった  行動しなかった

今週の優先順位(3)  
(全角100文字)

達成度評価  達成できた  まだ達成できた  行動したが達成できなかった  行動しなかった

目標と  
達成度

行動履歴

出席状況  
自動表示

日付	出席情報					予習・復習・課題	部活・バイトなど	食事			睡眠 (h)
	1	2	3	4	5			朝	昼	夜	
04/19 月		×						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
04/20 火								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
04/21 水								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
04/22 木								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
04/23 金								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
04/24 土								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

アップロード

添付ファイルは登録されていません

写真添付可「今週の1枚」

総括

この1週間で特に努力したこと、反省すべき点とその対策など (全角100文字)

日常生活で困っていることなど (全角100文字)

教員コメント

コメント欄

【木下 優美子】  
2010/04/19 18:43:38

aaa

【木下 優美子】  
未登録コメントです

# 週間ポートフォリオ

学生の投稿に対して、クラスアドバイザーがeポートフォリオ上で、毎週、コメントを返す

コメント欄 コメント欄追加 ▶

【短大 テス子】 国際交流のついで、外国人の学生と交流できてよかったです。  
2010/04/28 17:40:58

【稲垣 久美子】 外国人と会話を楽しめてよかったですね。積極的に催しに参加しようという短大さんの意欲、すばらしいと思います。来週は、1講時に間に合うように早起きを頑張りましょう。  
未登録コメントです

↑ 画面上へ

---

印刷 ▶ 投稿 ▶

学生の「省察」「気づき」を通しての  
学び、成長を支援する

# 調査の概要

調査名： 週間ポートフォリオに関するアンケート調査

調査時期： 2010年度前期末、7月下旬から8月上旬

調査対象者： 短期大学部学生 1年生 140名

クラスアドバイザー 教員 10名

調査項目：

学生調査項目：

- 行動履歴の記入や達成度の自己評価は有益だったか
- 週間ポートフォリオを通じて目的意識が身についたか
- 教員からのコメントが有益だったか
- あなたの学生生活は充実しているか 等

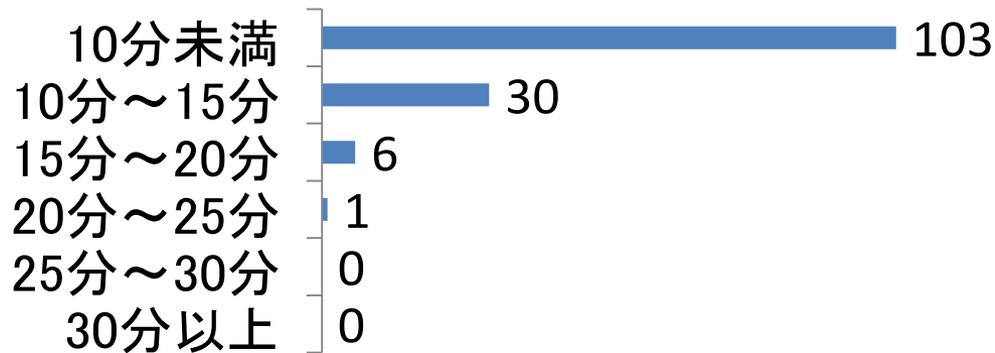
教員調査項目

- 週間ポートフォリオに要した時間、負担に感じたか
- コメントを書く上で工夫した点
- 週間ポートフォリオを通しての学生の変化 等

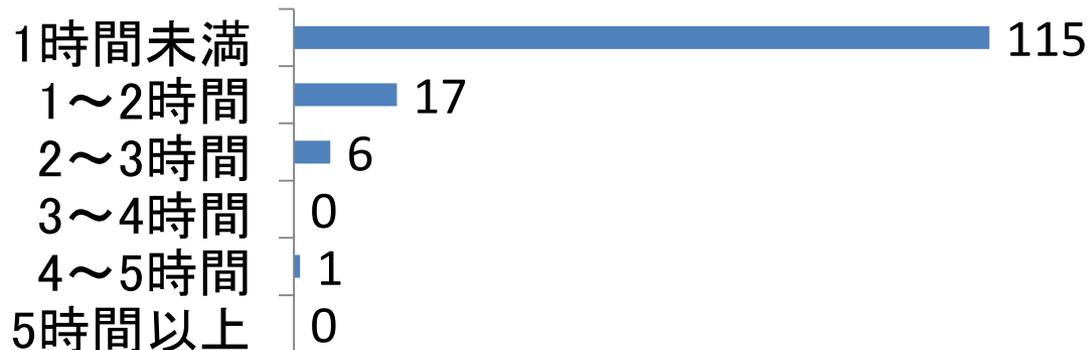
# 学生アンケート結果

## 週間ポートフォリオにどれくらいの時間を費やしたか

1日あたりの平均的な時間は

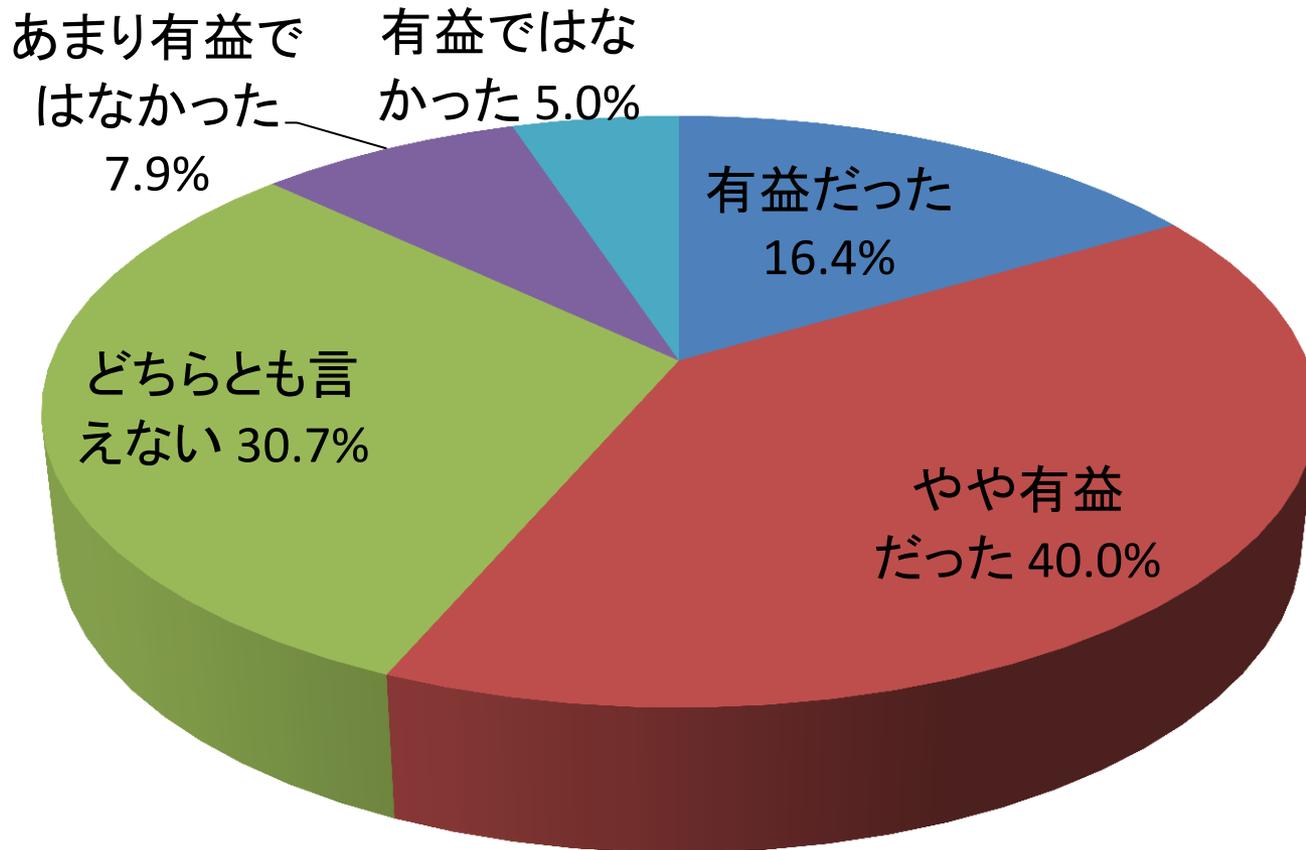


1週あたりの平均的な時間は



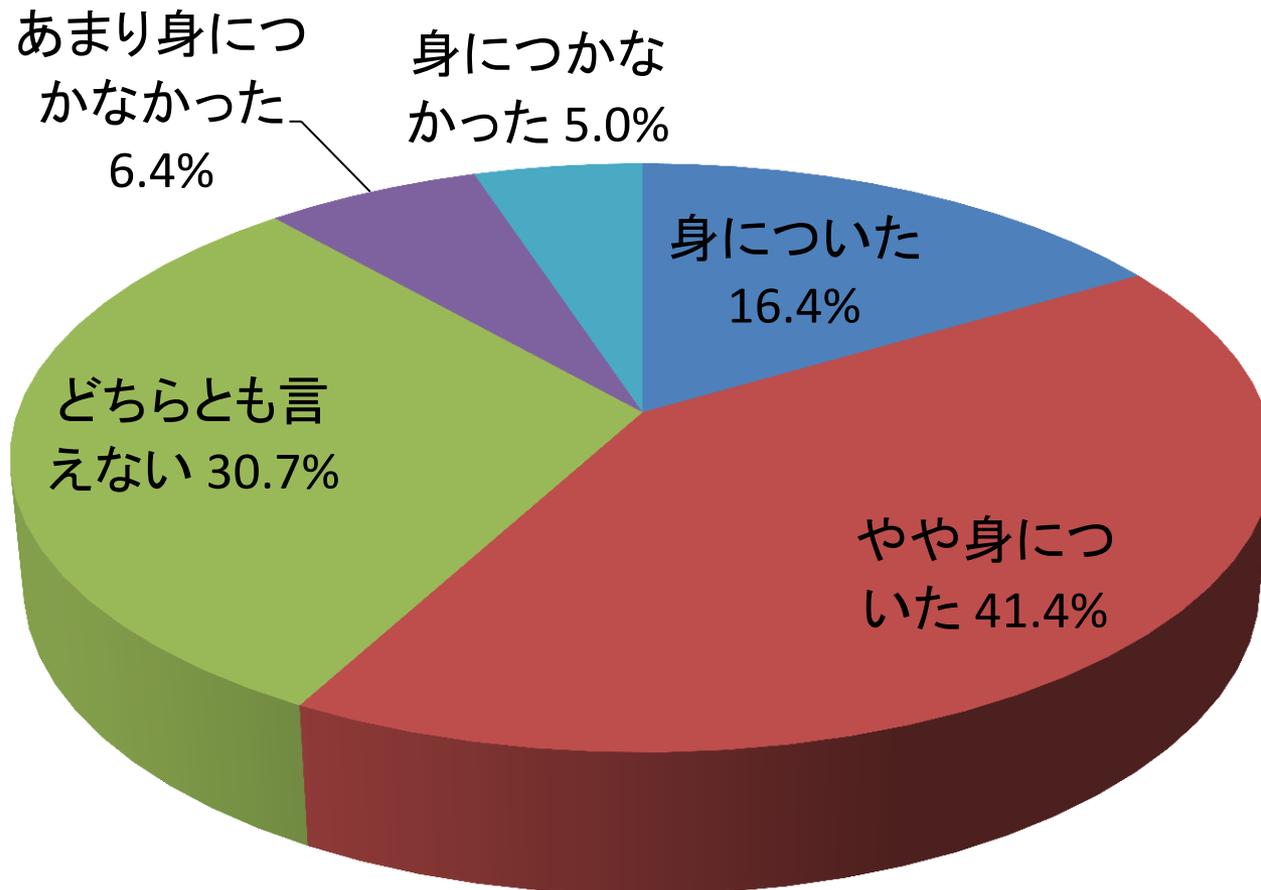
# 学生アンケート結果

行動履歴の記入や達成度の自己評価は有益だったか



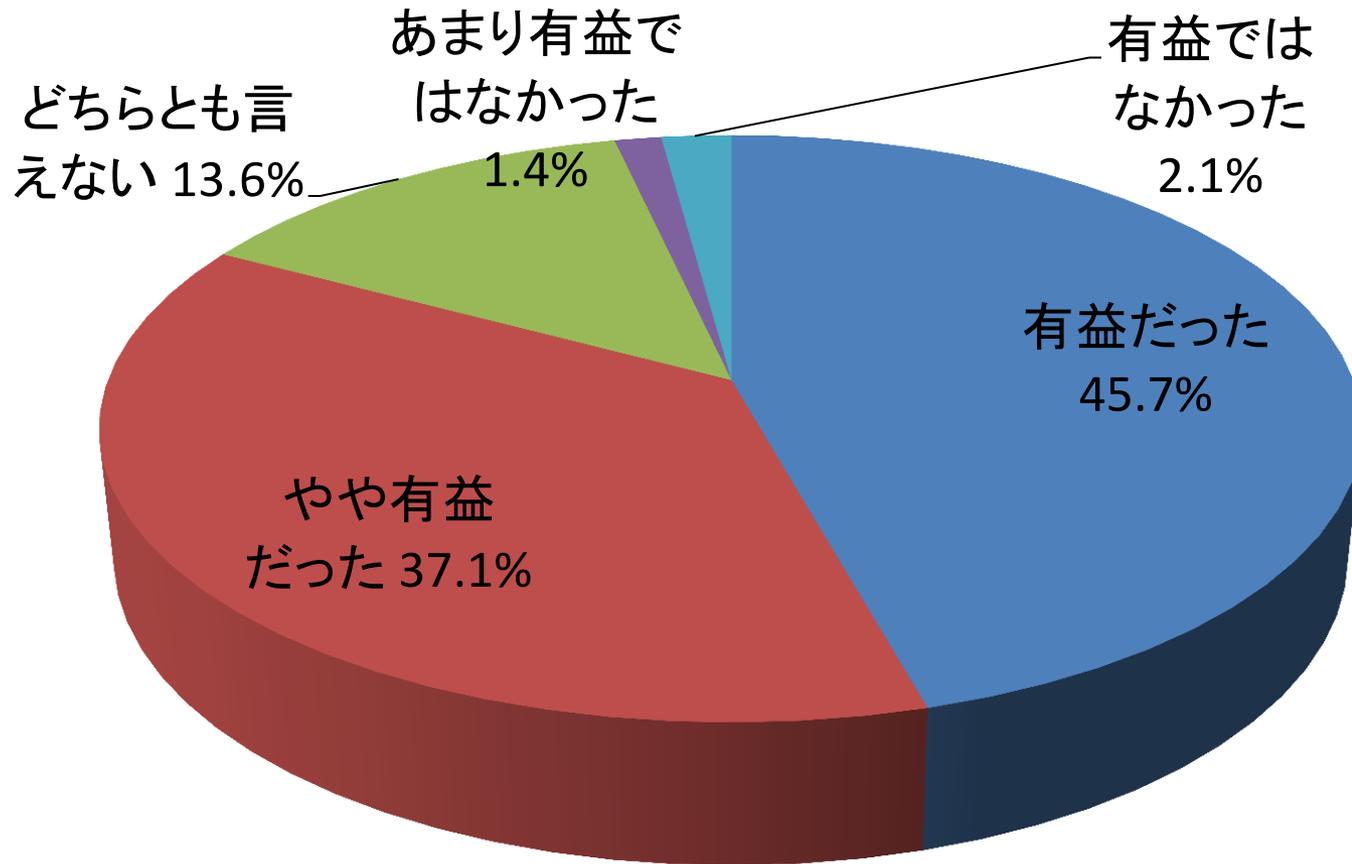
# 学生アンケート結果

## 週間ポートフォリオを通じて目的意識が身についたか



# 学生アンケート結果

## 教員からのコメントが有益だったか



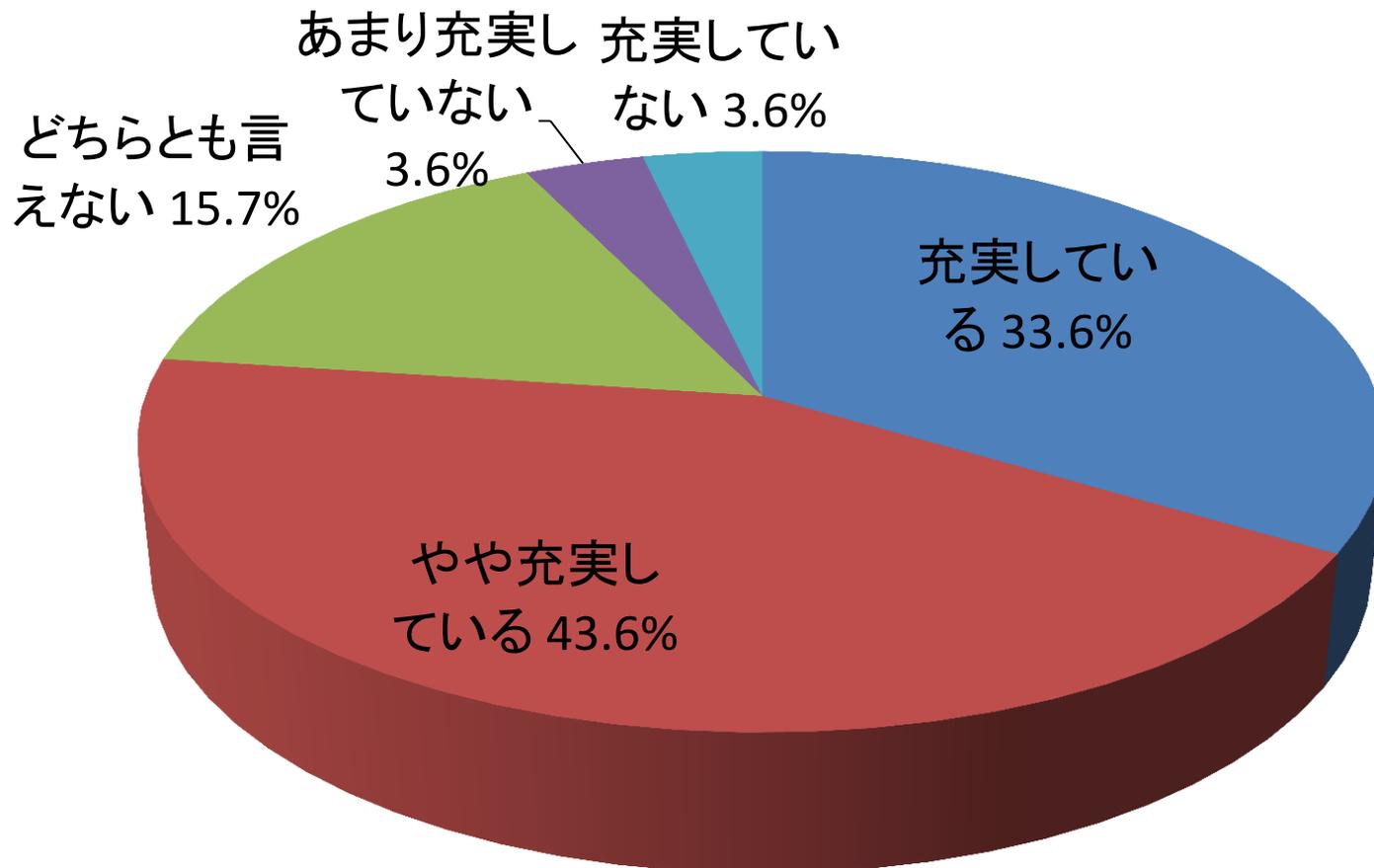
# 学生アンケート結果

## 教員からのコメントが有益だった理由

理由	出現数
コメントをもらうことが嬉しかった	17
コメントに励まされた、元気がもらえた、頑張ろうと思えた、前向きになれた	15
よいコメントをいただいた、アドバイスがもらえてよかった	14
改善点がわかった、改善しようと思えた	8
質問に対して的確な返事してもらえた	7
適切な、納得のいくアドバイス・意見をもらえた	5
コメントを見るのが楽しみだった、おもしろかった	4
コメント・アドバイスが参考になった	4
コメント・アドバイスが為になった	4
気にかけてくれている、心配してくれているのが有難かった	4
毎週コメントが返ってきて、遣り甲斐があった	3
自分を客観的に見ることができた	2
先生とのコミュニケーションになった	2

# 学生アンケート結果

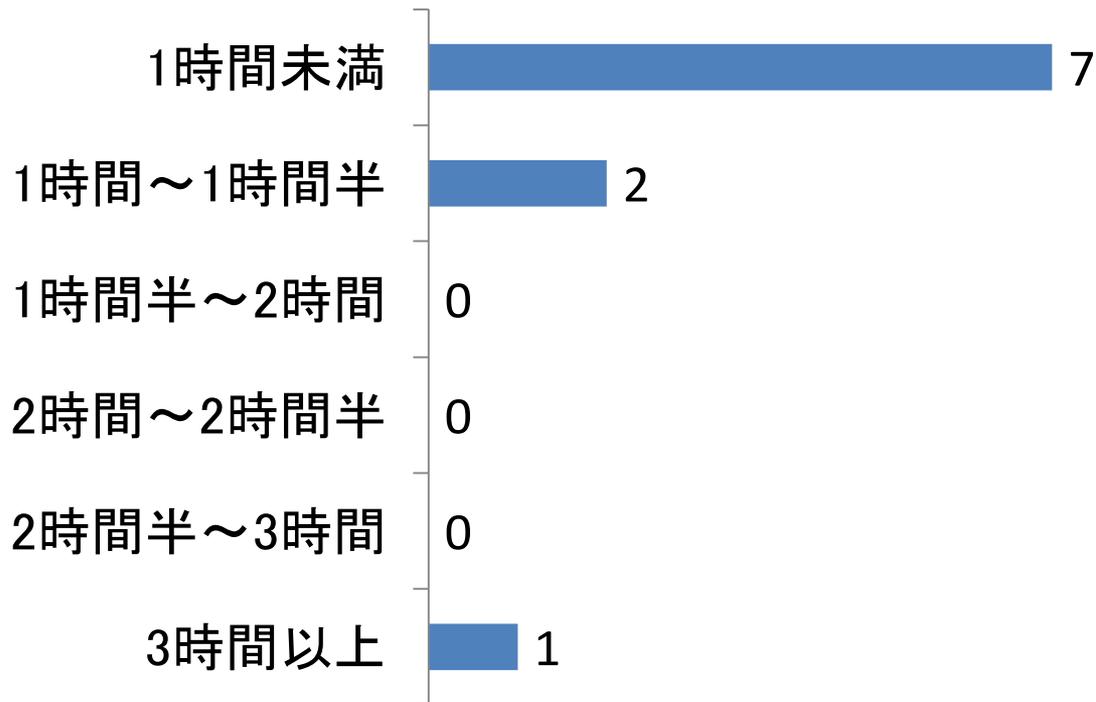
## あなたの学生生活は充実しているか



# 教員アンケート結果

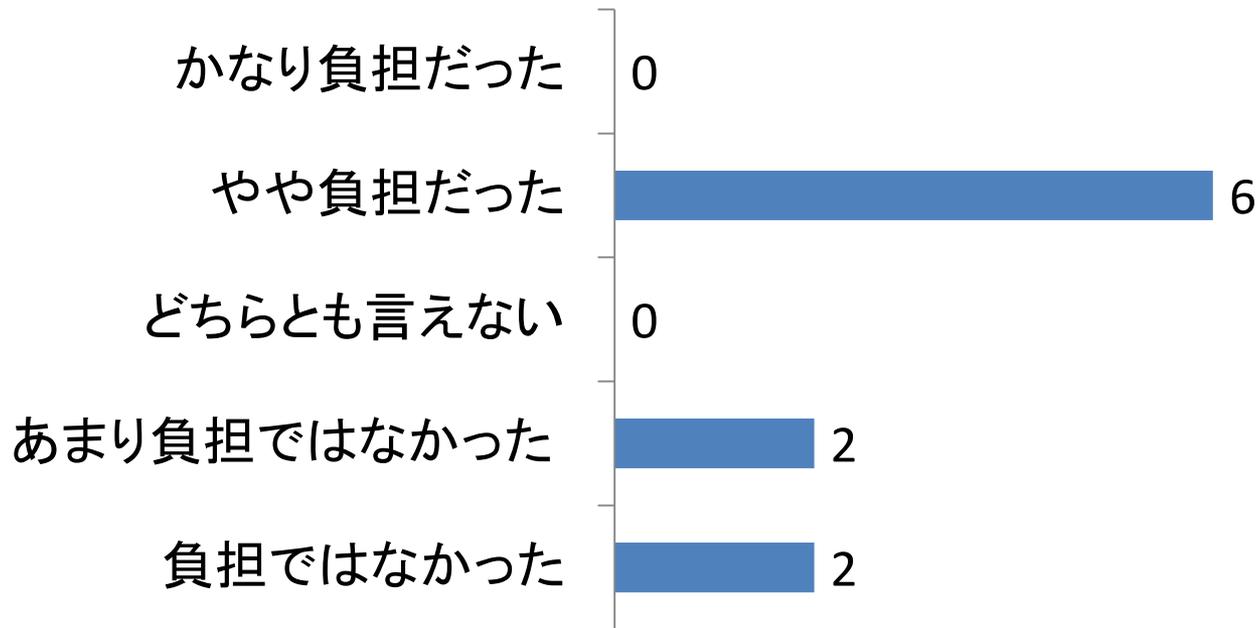
週間ポートフォリオにどれくらいの時間を費やしたか

1週あたりの平均的な時間は



# 教員アンケート結果

## 週間ポートフォリオの実施に負担を感じたか



# 教員アンケート結果

## コメントを書く上で工夫した点

工夫した点	回答例
共感する	「確かにそうだよね」って。「ぼくもそうだよ」って共感する。
相手の個性に合わせ	相手の個性に合わせてコメントしました。人によってそれぞれだから、どこまで言ったらいいのか、手探りで。
褒める	基本的に褒めるようにした。学生自身が達成できなかったことを指摘するのではなく、できたことを褒める。
励ます	「検定試験、自信がありません」⇒「頑張ってるね」って返す。励まして、毎回同じ言葉にならないように考えた。
丁寧な対応をする	一言で終わるのではなく、しっかり2行目までコメントを記入し、自分に丁寧な対応をしてくれているということを感じてもらえるようにした。 コメント欄で回答しきれない事柄は、直接会った時に「ポートフォリオの件ですが」と話しかけ、学生に「充分答えてもらえてない」という気持ちを抱かせないように気をつけた。
肯定的な言葉で	学生の頑張りや否定しないように。自分の考えを押しつけるのではなく、〇〇すれば？といった感じで意見を書いた。肯定的な言葉でコメントするようにした。

# 教員アンケート結果

## 週間ポートフォリオを通しての学生の変化

「始めの頃は通り一片の目標であったが、終わり頃は、学生生活や就活、卒業後の目標にまで考えを及ぼす学生が現れ始めた」

「4月は学校に慣れない様子が見られたが、だんだん学生生活にも慣れて、友人を得ていく様子がわかった」

「目標を立て、振り返るという作業を苦にしなくなった」

「自分自身の癖や反省点等を人から言われて気づくのではなく、自ら認識できるようになった」

「学生が教員を身近な存在として意識するようになった」

「成長が見られる場合もあったが、週間ポートフォリオによるかどうかわからない」

# まとめ(1)

- 調査結果から学生がPDCAサイクルを回す力を身につけるという当初の目標を達成できたかどうかは明らかではない
- 初年次教育に週間ポートフォリオを導入する取組は、多様なニーズを持って入学してくる新入生が、目的意識を持って学生生活を始め、計画的に、充実感を持って日々の学生生活を過ごすことを支援するツールとして効果的
- 教員から学生に送られるコメントが学生に好意的に受けとられ、やる気や自己肯定感の向上に寄与したことが明らかになった

⇒学生の目的意識や学生生活の充実度に一定の効果は認められた

# まとめ(2)

- 調査結果から、教員がコメント書きにやや負担感を抱いている反面、この取組を通して学生の現状を把握できることに意義を感じていることが明らかになった
- ⇒本取組の教育効果の更なる向上を図りながらも、教員の負担感を軽減させるための方策の検討  
教員同士が学び合うFDなどの組織的取組が求められる

## あとがき

本報告書をご覧いただければわかるように、本取組の柱は到達目標型教育への転換とポートフォリオの活用である。いずれもこれまでのGPの中でその重要性、有効性が確認されているものであり、本学でやったことはそれらを本学の事情にあわせてアレンジして活用したに過ぎない。それでも、これまでの取組を一步先に進めるものがあるとすれば、到達目標型教育とポートフォリオを連動させたこと、具体的には、「達成感ポートフォリオ」を用いて、ディプロマ・ポリシーという定性的到達目標を定量的到達目標に発展させる1つの方法を示したことであろうか。「ディプロマ・ポリシーの定量的目標化」についてはその妥当性の検討も含めて実現に向けた多くの大学・短期大学の取組があり、私たちの取組もその中の1つとして全体の発展に寄与するものとなれば幸いである。

本取組の目的は短期大学士力すなわち社会人基礎力の育成である。しかし、本取組でカバーしている領域はごくわずかであり、むしろ端緒についたに過ぎないといえる。

到達目標型教育への転換が、個別科目において社会人基礎力育成の観点の意識化に役立ったとしても、問題は、では社会人基礎力育成の重要性に気付いた教員が自らの担当科目の中でどのように社会人基礎力育成を具体化していけばよいのかということであり、この問題を解決していくことが次の大きな課題である。

ポートフォリオは確かに方針・実践・総括というサイクルの重要性を理解しそれを習慣化するのに役立つだろう。しかし、本学で実施したポートフォリオの守備範囲は、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力という社会人基礎力の全体を考えるとそれらにゆるくかすっているに過ぎない。社会人基礎力育成を直接の目的とした正課授業・課外授業の一層の展開も今後の課題である。

クラブ・サークル活動などの学生の自己教育の場が、社会人基礎力育成に重要なのは今も昔も変わらない。教職員の適切な関与の下で学生の「自己教育力」を復活させることも今後の課題である。

合同報告会についても触れておきたい。参加者アンケートでは、「合同での報告会は良いですね」、「合同での企画に感謝！各校の報告時間は短い、コンパクトであり、利用・参考には十分である」、等の感想が寄せられており、当初の目的は達成されたと考える。ここで改めて、合同報告会を共同で主催した、聖泉大学短期大学部、滋賀短期大学、京都西山短期大学、大阪音楽大学短期大学部の4短期大学に対して謝意を表したい。今後、GP報告会以外でも今回築いた輪をさらに広げ、共通の課題を抱える多くの大学・短期大学と共同の取組を進めるきっかけになればと期待している。

最後に、本取組を支援いただいたすべての皆様にここからお礼を申し上げたい。

キャリア教育推進特別委員会委員長  
相場浩和

平成21年度文部科学省

「大学教育・学生支援推進事業」【テーマB】学生支援推進プログラム採択

## 短期大学士力養成のための具体的実践としてのキャリア教育の推進

最終報告書

---

発行日 平成23年3月31日

編集発行 京都光華女子大学短期大学部

キャリア教育推進特別委員会

〒615-0882 京都府京都市右京区西京極葛野町38

TEL 075-325-5315

---